

## 第八次長野市行政改革大綱(案)委員修正内容

資料 1

### 1 行政改革大綱改定

委員修正(案)を赤字で表示しています。  
その内、冊子版に反映した部分を太字にしています。

#### (1) 行政改革行政改革のあゆみと行政改革大綱改定の趣旨(1/1)

頁	行	事務局修正案 (11/10送信分)	委員修正 (案)	委員コメント	事務局意見
P1	3	本市では、行政改革を進めるための指針として昭和60年に「長野市行政改革大綱(第一次)」を策定し、平成30年度から令和4年度までを実施期間とする第七次長野市行政改革大綱(以下「第七次大綱」という。)までにわたって、積極的に取り組んできました。	本市では、行政改革を進めるための指針として昭和 60 年に「長野市行政改革大綱(第一次)」を <b>策定して以来</b> 、平成 30 年度から令和4年度までを実施期間とする第七次長野市行政改革大綱(以下「第七次大綱」という。)までに <b>わたって、組織・職員数の見直し、予算の適正執行など行政改革に積極的に</b> 取り組んできました。	寺澤委員 コメントなし  西脇委員 「積極的」の表記はいら ないのではないか	寺澤委員の案のとおり 修正します。
	8	特に、直近の第七次大綱では、多くの公共施設や都市インフラの老朽化が進む中、今後、多額の改修や更新費用が必要になることを見据えて、公共施設マネジメントの取組を強力に推進してきました。	<b>特に、第七次大綱</b> では、多くの公共施設や都市インフラの老朽化が進む中、今後、多額の改修や更新費用が必要になることを見据えて、公共施設マネジメントの取組を強力に推進してきました。	寺澤委員 コメントなし  西脇委員 【意見】 「第7次大綱」の表記が 多すぎるのではないか。	寺澤委員の案のとおり 修正します。  「第七次大綱」の表記 は、文章全体のつながり を考慮し、必要と考えま す。

1 行政改革大綱改定

(2) 本市を取り巻く現状と課題

ア 人口減少・少子化、社会や市民生活の変化(1/2)

頁	行	事務局修正案 (11/10送信分)	委員修正 (案)	委員コメント	事務局意見
P1	22	人口減少や人口構造の大きな変化は、地域経済のみならず、地域の住民活動にも影響を与えており、中長期的には行政サービスを提供する人材の不足や本市の財政に大きな影響を与えることが懸念されます。	人口減少や人口構造の大きな変化は、地域経済のみならず、地域の住民活動にも影響を <b>及ぼ</b> しており、中長期的には行政サービスを提供する人材の不足や本市の財政 <b>にも</b> 大きな影響を与えることが懸念されます。  中長期的には行政サービスを提供する人材の不足や本市の <b>歳入不足</b> が懸念されます。	寺澤委員 【意見】 同じ影響……気になる。  宇賀田委員 ここでは「歳入不足」とした方が、イで記載する歳出の内容とは別であることが分かる気がします。  西脇委員 【意見】 現状か課題がよくわからない。	寺澤委員の案のとおり修正します。  人口減少等による税収等の減少は想定できますが、歳入不足とまでの表現はできないと考えています。
	25	また、ライフスタイルや働き方、価値観の多様化に加えて、新型コロナウイルス感染症による新しい生活様式など、社会や市民生活が大きく変化しています。	また、ライフスタイルや働き方、価値観の多様化に加えて、新型コロナウイルス感染症による新しい生活様式など、社会や市民生活が大きく変化するとともに、 <b>職員にも大きな影響を与えています。</b>	宇賀田委員 【意見】 「(2)本市を取り巻く現状と課題」では一般的な少子化、生活様式の変革については触れられているが、職員についての記載がありません。	宇賀田委員の意見を踏まえ修正します。

1 行政改革大綱改定

(2) 本市を取り巻く現状と課題

ア 人口減少・少子化、社会や市民生活の変化(2/2)

頁	行	事務局修正案 (11/10送信分)	委員修正 (案)	委員コメント	事務局意見
P1	28	<p>少子高齢社会に対応し、新たに生じる行政課題や、多様な市民ニーズに応え、将来にわたって安定的に行政サービスを提供していくためには、これまで以上に効率的な行政運営が求められるとともに、地域住民や民間団体等との協働や一層の公民連携が課題となっています。</p>	<p><b>このような社会構造や市民生活の変化</b>に対応し、新たに生じる行政課題や、多様な市民ニーズに応え、将来にわたって安定的に行政サービスを提供していくためには、これまで<b>にない考え方や行動変容とさらなる効率化</b>が求められており、地域住民や民間団体等との<b>連携・協働がこれまで以上に必要</b>になっています。</p> <p>↓ (事務局案)</p> <p><b>新しい視点での考え方や行動の変化とともに、更なる行政の効率化が求められており、</b>地域住民や民間団体等との協働や一層の公民連携が課題となっています。</p>	<p>寺澤委員 コメントなし</p> <p>阿部副会長 直近2回の審議会で行革が効率化だけではないという議論があったと思う。このような文言を入れてみました。「課題となっています」という部分が多いように思うので、少し言い換えてみてはと思います。</p>	<p>寺澤委員の案のとおり修正します。</p> <p>阿部副会長の修正案を踏まえ、修正しました。</p>

1 行政改革大綱改定  
 (2) 本市を取り巻く現状と課題  
 イ 持続可能な財政運営(1/4)

頁	行	事務局修正案 (11/10送信分)	委員修正 (案)	委員コメント	事務局意見
P1	35	人口減少・少子高齢化が進行する中で、今後、医療や介護などの社会保障関係費の増加が見込まれるとともに、高度経済成長期に建設した多くの公共施設の維持や更新のための費用の増加も見込まれるため、一層財政状況の厳しさが増すものと予想されています。	人口減少・少子高齢化が進行する中で <b>本市においても</b> 、今後、医療や介護などの社会保障関係費の増加が <b>想定される</b> とともに、高度経済成長期に建設した多くの公共施設の維持や更新のための費用の増加も見込まれて <b>おり</b> 、一層財政状況の厳しさが増すものと予想されています。  高度経済成長期に建設した多くの公共施設の維持や更新のための費用の増加も <b>見込まれ</b> 、一層財政状況の厳しさが増すものと予想されています。	寺澤委員 コメントなし   阿部副会長 コメントなし	寺澤委員の案のとおり修正します。
P2	1	社会保障関係経費の抑制を図り、持続可能な財政運営を実現するためには、高齢となってもできるだけ健康を維持することを目指し「健幸増進都市」の実現に取り組むとともに、公共施設についても、利用状況や将来需要等を見極めながら、できるだけ長期にわたって利用できるような対策を行うことが課題となっています。 また、将来に向けた持続可能な財政基盤を確保するために、スマートシティ関連事業を中核に据えた地域経済の基盤となる新たな産業の創造が課題となっています。	<b>社会保障関係経費の抑制のために、高齢となってもできるだけ健康を維持する事を目指し「健幸増進都市」の実現に取り組む。</b> <b>公共施設については、より良い資産を次世代に引き継いでいくため、現在の利用状況や将来需要等を見極め、人口規模に見合った施設の確保が課題。</b> <b>産業分野においては、スマートシティ関連事業を中核に据えた地域経済の基盤となる新たな産業の創造が課題。</b>	中谷委員 コメントなし	前回審議会において、「また」や「さらに」等の接続詞が多いとのこと意見を踏まえ、修正案を作成したものです。

1 行政改革大綱改定  
 (2) 本市を取り巻く現状と課題  
 イ 持続可能な財政運営(2/4)

頁	行	事務局修正案 (11/10送信分)	委員修正 (案)	委員コメント	事務局意見
P2	1	<p>社会保障関係経費の抑制を図り、持続可能な財政運営を実現するためには、高齢となってもできるだけ健康を維持することを目指し「健幸増進都市」の実現に取り組むとともに、公共施設についても、利用状況や将来需要等を見極めながら、できるだけ長期にわたって利用できるよう対策を行うことが課題となっています。</p>	<p>社会保障関係経費の適正化を図り、持続可能な財政運営を実現するためには、公共施設を活用し、高齢となっても健康を維持することを目指した「健幸増進都市」の実現に取り組む一方で、公共施設について、利用状況や将来需要等を見極めながら、できるだけ長期にわたって利用できるよう対策を行うことが課題となっています。</p>	<p>寺澤委員 コメントなし</p> <p>宇賀田委員 社会保障費の抑制に対応する直接の行政改革はできないので公共施設の活用絡めて記載してはどうかと思い、加筆しました。</p>	<p>前段落の社会保障関係経費の増加に対し、「抑制」という表現で修正案を作成したものです。</p> <p>「公共施設を活用した高齢者の健康維持の取組」は手法の一つと考えます。そのため、公共施設を活用した取組に限定せず、「高齢となっても健康を維持することを目指し」という表現で修正案を作成したものです。</p>
		<p>社会保障関係経費の抑制を図り、持続可能な財政運営を実現するためには、高齢となってもできるだけ健康を維持することを目指し「健幸増進都市」の実現に取り組むとともに、公共施設についても、利用状況や将来需要等を見極めながら、できるだけ長期にわたって利用できるよう対策を行うことが課題となっています。</p>	<p>社会保障関係経費の抑制を図り、持続可能な財政運営を実現するためには、高齢となっても健康を維持することを目指し「健幸増進都市」の実現に取り組むとともに、公共施設についても、利用状況や将来需要等を見極めながら、できるだけ長期にわたって利用できるよう対策を行うことが課題となっています。</p>	<p>阿部副会長 「できるだけ」が繰り返しになっているのでここは不要かと。</p> <p>寺澤委員 コメントなし</p>	<p>阿部副会長の案のとおり修正します。</p> <p>本市の総合計画に記載のある「健幸増進都市」の実現の表現を残したいと考えます。</p>

1 行政改革大綱改定  
 (2) 本市を取り巻く現状と課題  
 イ 持続可能な財政運営(3/4)

頁	行	事務局修正案 (11/10送信分)	委員修正 (案)	委員コメント	事務局意見
P2	3	公共施設についても、利用状況や将来需要等を見極めながら、できるだけ長期にわたって利用できるよう対策を行うことが課題となっています。	公共施設についても、利用状況や将来需要等を見極めながら、できるだけ長期にわたって利用できるよう対策を行わなくてはなりません。	阿部副会長 コメントなし	本項目のタイトルを「現状と課題」としているため、項目タイトルに合わせて、本文においてもできるだけ「課題となっています」として表記したいと考えます。
	5	また、将来に向けた持続可能な財政基盤を確保するために、スマートシティ関連事業を中核に据えた地域経済の基盤となる新たな産業の創造が課題となっています。	また、将来に向けた持続可能な財政基盤を確保するために、スマートシティ関連事業を中核に据えた地域経済の基盤となる新たな産業の創造が求められています。	阿部副会長 新産業創造については市の大切な施策かと思いますが、必要でしょうか？入れるとしたら、この部分は現状の説明なので課題となっているよりは求められている方が分かりやすいかと思います。	

1 行政改革大綱改定  
 (2) 本市を取り巻く現状と課題  
 イ 持続可能な財政運営(4/4)

頁	行	事務局修正案 (11/10送信分)	委員修正 (案)	委員コメント	事務局意見
P2	1	<p>人口減少・少子高齢化が進行する中で、今後、医療や介護などの社会保障関係費の増加が見込まれるとともに、高度経済成長期に建設した多くの公共施設の維持や更新のための費用の増加も見込まれるため、一層財政状況の厳しさが増すものと予想されています。</p> <p>社会保障関係経費の抑制を図り、持続可能な財政運営を実現するためには、高齢となってもできるだけ健康を維持することを目指し「健幸増進都市」の実現に取り組むとともに、公共施設についても、利用状況や将来需要等を見極めながら、できるだけ長期にわたって利用できるような対策を行うことが課題となっています。</p>		<p>西脇委員  <b>【意見】</b>          「とともに」で続けずに、短い文にしていた方がわかりやすいのではないかと。年配者には、言葉が難しい感あり</p>	<p>前回審議会において、「また」や「さらに」等の接続詞が多いとのこと意見を踏まえ、修正案を作成したものです。</p>

1 行政改革大綱改定

(2) 本市を取り巻く現状と課題

ウ DX(デジタル・トランスフォーメーション)の広がり(1/2)

頁	行	事務局修正案 (11/10送信分)	委員修正 (案)	委員コメント	事務局意見
P2	10	これまでの社会のデジタル化の進展に加え、新型コロナウイルス感染症による社会環境の変化を受け、近年、デジタル技術を活用した新たな価値の創造や社会課題の解決に向けた取組とともに、業務プロセスや組織を含めた大きな変革を行うDXが、社会全体に広がっています。		西脇委員 【意見】 ワンセンテンスが長い。	前回審議会において、「また」や「さらに」等の接続詞が多いとのこと意見を踏まえ、修正案を作成したものです。
	14	本市も、これまでに行政サービスや事務処理のデジタル化に取り組んできましたが、社会環境の大きな変化に対応し、新たな市民サービスの提供と行政運営の効率化を図るためには、一層の行政サービスのデジタル活用とともに業務プロセスや関連するルールの見直し、さらにそれを実現する組織変革が課題となっています。	本市も、これまでに行政サービスや事務処理のデジタル化に取り組んできましたが、社会環境の大きな変化に対応し、新たな市民サービスの提供と行政運営の効率化を図るためには、一層の行政サービスのデジタル活用と業務プロセスや関連する規則、要領などのルールの見直し、さらにそれを実現する組織変革が必要です。	阿部副会長 コメントなし  寺澤委員 コメントなし  阿部副会長 コメントなし	デジタル活用の見直しとの解釈を避けるため、「デジタル活用とともに」と表記して、修正案を作成したものです。  寺澤委員の案のとおり修正します。  本項目のタイトルを「現状と課題」としているため、項目タイトルに合わせて、本文においてもできるだけ「課題となっています」として表記したいと考えます。



1 行政改革大綱改定

(2) 本市を取り巻く現状と課題

ウ DX(デジタル・トランスフォーメーション)の広がり(2/2)

頁	行	事務局修正案 (11/10送信分)	委員修正 (案)	委員コメント	事務局意見
P2	14	本市も、これまでに行政サービスや事務処理のデジタル化に取り組んできましたが、社会環境の大きな変化に対応し、新たな市民サービスの提供と行政運営の効率化を図るためには、一層の行政サービスのデジタル活用とともに業務プロセスや関連するルールの見直し、さらにそれを実現する組織変革が課題となっています。	本市も、これまでに行政サービスや事務処理のデジタル化に取り組んできましたが、社会環境の大きな変化に対応し、新たな市民サービスの提供と行政運営の効率化を図るためには、一層の行政サービスのデジタル活用とともに業務プロセスや関連するルールの見直し、さらにそれを実現する <b>組織、組織文化・風土の変革</b> が課題となっています。	真野委員 コメントなし  西脇委員 【意見】 「市役所業務の DX」という表現を使ったほうが分かりやすいのではないか。	真野委員の案のとおり修正します。  「市役所業務の DX」という表現は、注釈を作成する中で分かりやすくなるよう検討したいと考えます。

2 第八次長野市行政改革大綱が目指すもの(1/5)

頁	行	事務局修正案 (11/10送信分)	委員修正 (案)	委員コメント	事務局意見
P2	21	<p>第八次長野市行政改革大綱では、少子高齢化が進展し、社会や市民生活が大きく変化する中で、行政だけでは解決できない複雑・多様化する地域課題や社会課題の解決を図るため、地域住民や民間団体等との協働や公民連携を一層深めるとともに、多様な人材の活用と多様な働き方による効率的な行政運営に取り組むこととします。</p> <p>また、今後一層厳しさが増す財政状況を見通しながら、公共施設の最適な維持管理と財政負担の平準化に取り組むとともに、事務事業の評価や施策立案への新たな手法の導入や手法の見直しを推進することとします。</p> <p>さらに、デジタルを活用した行政サービスの利便性向上と、業務プロセスや様々な規制等の見直しによる組織の変革を進め、社会全体に広がりつつあるDX(デジタル・トランスフォーメーション)の実現に取り組むとともに、行政サービスを担う職員についても個々の人材の自発性を生かせる研修体系や支援制度の構築による多様な人材の育成と、その多様な人材が互いに認め合い働ける職場づくりを推進することで、多様性と組織変革、デジタル活用を主な柱とした行政改革により第五次長野市総合計画後期基本計画が目標とする、幸せ実感都市『ながの』の実現を目指します。</p>	<p>デジタル活用を主な柱とした下記行政改革により、第五次長野市総合計画後期基本計画が目標とする、幸せ実感都市『ながの』の実現を目指します。</p> <p>① (複雑・多様化する地域課題や社会課題の解決を図るため、)より一層の地域住民や民間団体等との協働や公民連携</p> <p>② 公共施設の最適な維持管理と財政負担の平準化 事務事業の評価や施策立案への新たな手法の導入</p> <p>③ デジタルを活用した行政サービスの利便性向上</p> <p>④ 業務プロセスや様々な規制等の見直し。 職員の多様性を認め合い、自発的に取り組みやすい組織への変革</p>	<p>宇賀田委員 文章にしてしまうと、前の「本市を取り巻く現状と課題」と同じ内容、似たような言葉が出てきて読みにくい。また文章の中でも「多様」という言葉が頻出していて分かりにくい。 目指すものを端的に箇条書きに記載した方が分かりやすい気がします。</p>	<p>宇賀田委員の箇条書きに修正する案を踏まえ、11 ページに事務局案を作成しました。</p>

2 第八次長野市行政改革大綱が目指すもの(2/5)

頁	行	事務局修正案 (11/10送信分)	委員修正 (案)	委員コメント	事務局意見
P2	21	<p>第八次長野市行政改革大綱では、少子高齢化が進展し、社会や市民生活が大きく変化する中で、行政だけでは解決できない複雑・多様化する地域課題や社会課題の解決を図るため、地域住民や民間団体等との協働や公民連携を一層深めるとともに、多様な人材の活用と多様な働き方による効率的な行政運営に取り組むこととします。</p> <p>また、今後一層厳しさが増す財政状況を見通しながら、公共施設の最適な維持管理と財政負担の平準化に取り組むとともに、事務事業の評価や施策立案への新たな手法の導入や手法の見直しを推進することとします。</p> <p>さらに、デジタルを活用した行政サービスの利便性向上と、業務プロセスや様々な規制等の見直しによる組織の変革を進め、社会全体に広がりつつあるDX(デジタル・トランスフォーメーション)の実現に取り組むとともに、行政サービスを担う職員についても個々の人材の自発性を生かせる研修体系や支援制度の構築による多様な人材の育成と、その多様な人材が互いに認め合い働ける職場づくりを推進することで、多様性と組織変革、デジタル活用を主な柱とした行政改革により第五次長野市総合計画後期基本計画が目標とする、幸せ実感都市『ながの』の実現を目指します。</p>	<p>第八次長野市行政改革大綱では、多様性と組織変革、デジタル活用を主な柱とし、次に掲げる行政改革を推進することにより、第五次長野市総合計画後期基本計画が目標とする、幸せ実感都市『ながの』の実現を目指します。</p> <p>(1) 行政だけでは解決できない複雑・多様化する地域課題や社会課題の解決を図るため、地域住民や民間団体等との協働や公民連携を一層深めるとともに、多様な人材の活用と多様な働き方による効率的な行政運営に取り組みます。</p> <p>(2) 今後一層厳しさが増す財政状況を見通しながら、公共施設の最適な維持管理と財政負担の平準化に取り組むとともに、事務事業の評価や施策立案への新たな手法の導入や見直しを推進します。</p> <p>(3) スマートフォンなどの情報通信機器やコンピュータを活用した行政サービスの利便性向上と、業務プロセスや様々なルール等の見直しによる組織の変革を進め、社会全体に広がりつつあるDXの実現に取り組むとともに、行政サービスを担う職員についても個々の人材の自発性を生かせる研修体系や支援制度の構築による多様な人材の育成と、その多様な人材が互いに認め合い働ける職場づくりを推進します。</p>		<p>箇条書きとする場合の事務局案を作成しました。</p>

2 第八次長野市行政改革大綱が目指すもの(3/5)

頁	行	事務局修正案 (11/10送信分)	委員修正 (案)	委員コメント	事務局意見
P2				西脇委員 【意見】 「4 改革の取り組み」を読むとよく分かるので、「4 改革の取り組み」で書かれていることを、順番に簡潔に文章にしたほうが分かりやすいのではないか。	11ページの事務局案にまとめました。
	21	第八次長野市行政改革大綱では、少子高齢化が進展し、社会や市民生活が大きく変化する中で、行政だけでは解決できない複雑・多様化する地域課題や社会課題の解決を図るため、地域住民や民間団体等との協働や公民連携を一層深めるとともに、多様な人材の活用と多様な働き方による効率的な行政運営に取り組むこととします。	第八次長野市行政改革大綱では、少子高齢化が進展し、社会や市民生活が大きく変化する中で、行政だけでは解決できない複雑・多様化する地域課題や社会課題の解決を図るため、地域住民や民間団体等との協働を一層深めるとともに、多様な人材の活用と多様な働き方による効率的で先駆的な行政運営に取り組むこととします。	阿部副会長 コメントなし	4改革の取組の(1)市民とともにつくる市政の推進の内容を踏まえ、協働と公民連携の要素を取り入れた修正案を作成しているものです。  先駆的な行政運営は、他者よりも先駆ける状態の定義が難しいため、当初案が適切と考えます。

2 第八次長野市行政改革大綱が目指すもの(4/5)

頁	行	事務局修正案 (11/10送信分)	委員修正 (案)	委員コメント	事務局意見
P2	25	また、今後一層厳しさが増す財政状況を見通しながら、公共施設の最適な維持管理と財政負担の平準化に取り組むとともに、事務事業の評価や施策立案への新たな手法の導入や手法の見直しを推進することとします。	また、今後一層厳しさが増す財政状況を見通しながら、公共施設の最適な維持管理と財政負担の平準化に取り組むとともに、事務事業の評価や施策立案への新たな手法の導入や見直しを推進することとします。	寺澤委員 コメントなし	寺澤委員の案のとおり修正します。
	28	さらに、デジタルを活用した行政サービスの利便性向上と、業務プロセスや様々な規制等の見直しによる組織の変革を進め、社会全体に広がりつつあるDX(デジタル・トランスフォーメーション)の実現に取り組むとともに、  行政サービスを担う職員についても個々の人材の自発性を生かせる研修体系や支援制度の構築による多様な人材の育成と、その多様な人材が互いに認め合い働ける職場づくりを推進することで、  多様性と組織変革、デジタル活用を主な柱とした行政改革により第五次長野市総合計画後期基本計画が目標とする、幸せ実感都市『ながの』の実現を目指します。	さらに、スマートフォンなどの情報通信機器やコンピュータを活用した行政サービスの利便性向上と、業務プロセスや様々なルール等の見直しによる組織の変革を進め、社会全体に広がりつつあるDX(デジタル・トランスフォーメーション)の実現に取り組むとともに、  行政サービスを担う職員についても個々の自発性を生かした研修や支援制度を提供することにより、多様な人材の育成と、その多様な人材が互いに認め合い働ける職場づくりを推進することとします。  こうした行政改革を進めることにより第五次長野市総合計画後期基本計画が目標とする、幸せ実感都市『ながの』の実現を目指します。	寺澤委員 【意見】 「デジタル」の意味するものは？どこかで説明を加えないと意味が通じにくいのでは？	寺澤委員の意見を踏まえ、修正します。  現状では、[自発性を生かした研修]や[支援制度の提供]よりも前段階の状態にあると考え、修正案を作成したものです。  寺澤委員の案のとおり修正します。

2 第八次長野市行政改革大綱が目指すもの(5/5)

頁	行	事務局修正案 (11/10送信分)	委員修正 (案)	委員コメント	事務局意見
P2	28	<p>さらに、デジタルを活用した行政サービスの利便性向上と、業務プロセスや様々な規制等の見直しによる組織の変革を進め、社会全体に広がりつつあるDXの実現に取り組むとともに、行政サービスを担う職員についても個々の人材の自発性を生かせる研修体系や支援制度の構築による多様な人材の育成と、その多様な人材が互いに認め合い働ける職場づくりを推進することで、多様性と組織変革、デジタル活用を主な柱とした行政改革により第五次長野市総合計画後期基本計画が目標とする、幸せ実感都市『ながの』の実現を目指します。</p>	<p>さらに、デジタルを活用した行政サービスの利便性向上と、業務プロセスや様々な規制等の見直しによる組織の変革を進め、社会全体に広がりつつあるDXの<b>実現に取り組めます</b>。</p> <p>行政サービスを担う職員についても個々の人材の自発性を生かせる研修体系や支援制度の構築による多様な人材の育成と、その多様な人材が互いに認め合い働ける職場づくりを<b>推進します</b>。</p> <p><b>多様な人材確保</b>と組織変革、デジタル活用を主な柱とした行政改革により第五次長野市総合計画後期基本計画が目標とする、幸せ実感都市『ながの』の実現を目指します。</p> <p>さらに、デジタルを活用した行政サービスの利便性向上と、業務プロセスや様々な規制等の見直しによる組織の変革を進め、社会全体に広がりつつあるDX(デジタル・トランスフォーメーション)の<b>実現に取り組んでいきます</b>。</p> <p>行政サービスを担う職員についても個々の人材の自発性を生かせる研修体系や支援制度の構築による多様な人材の育成と、その多様な人材が互いに認め合い働ける職場づくりを<b>推進していきます</b>。</p> <p><b>こうした多様性</b>と組織変革、デジタル活用を主な柱とした行政改革により第五次長野市総合計画後期基本計画が目標とする、幸せ実感都市『ながの』の実現を目指します。</p>	<p>阿部副会長 全体に文章が長かったので切り分けてみました。 多様性のところがぼくっとして分かりにくいので、多様な人材確保としました。これには行政職員だけでなく、市民参加の部分も含めてと思いますが、他にいい言葉があれば書き換えてもらっても良いです。</p> <p>普世会長 第3段落が長すぎるのではないかと思います。 「4改革の取り組み」で掲げている取組に対応した形で段落を分けてみました。</p>	<p>前回審議会において、「また」や「さらに」等の接続詞が多いとのご意見を踏まえ、修正案を作成したものです。</p> <p>11ページの事務局案にまとめました。</p>

#### 4 改革の取組

##### (1) 市民とともにつくる市政の推進(1/2)

頁	行	事務局修正案 (11/10送信分)	委員修正 (案)	委員コメント	事務局意見
P3	3	<p>より多くの市民の多様な意見を市政に反映させていくため、できるだけ多くの市民に様々な工夫により情報を伝えるとともに、市民の市政への参画を推進します。</p> <p>また、行政だけでは解決できない複雑・多様化する地域課題や社会課題の解決を図るため、地域コミュニティ組織や市民公益活動団体との協働の取組を深めるとともに、行政と民間、さらには、民間同士の対話や連携による公民連携を推進します。</p>	<p>より多くの市民の多様な意見を市政に反映させていくため、できるだけ多くの市民に様々な工夫により情報を伝えるとともに、市民の市政への参画を推進します。</p> <p><b>また、地域コミュニティ組織</b>や市民公益活動団体との協働の取組を深めるとともに、行政と民間、さらには、民間同士の対話や連携による公民連携を推進します。</p> <p>また、<b>地域のコンセンサスが得られず、解決のための知識が不足している</b>、行政だけでは解決できない複雑・多様化する地域課題や社会課題も増えてきております。このような<b>すぐに正解が見えない、試行錯誤が必要な課題</b>に対して、地域コミュニティ組織や市民公益活動団体との<b>対話</b>や協働の取組を深めるとともに、行政と民間、さらには、民間同士の対話や連携を<b>促進し</b>、公民連携を推進します。</p> <p>また、行政だけでは解決できない複雑・多様化する地域課題や社会課題の解決を図るため、地域コミュニティ組織や市民公益活動団体との協働を<b>深め</b>、<b>行政と民間だけでなく</b>、民間同士の対話や連携による公民連携を推進します。</p>	<p>寺澤委員 コメントなし</p> <p>真野委員 コメントなし</p> <p>阿部副会長 コメントなし</p>	<p>寺澤委員の案のとおり修正し、文章を簡潔にします。</p> <p>修正案は、協働による取組を深めるとともに、行政と民間から発展的に民間同士の対話や連携という主旨で作成したものです。</p>

#### 4 改革の取組

##### (1) 市民とともに作る市政の推進(2/2)

頁	行	事務局修正案 (11/10送信分)	委員修正 (案)	委員コメント	事務局意見
P3	12	○地域コミュニティ組織や市民公益活動団体等との連携・協働	○地域コミュニティ組織や市民公益活動団体等との対話・連携・協働による課題解決	真野委員 コメントなし	現在行われている[連携・協働]の取組を深めていくことに重きを置き、修正案を作成したものです。
	13	○民間企業等との対話の窓口の創設や民間を中心に据えた地域課題の解決を図るための連携の創出	○民間企業等との対話の場の創設や民間を中心とした地域課題の解決を図るための連携・協働の創出	阿部副会長 対話の場の創設、連携協働の創出とありますが、すでにあるのでは？と思うのですが。新たに作るかんじでも良いでしょうか？	民間企業等との対話の窓口の創設は、企業間のコーディネートや民間企業等が主導的に動く連携の創出を意図して、修正案を作成したものです。



#### 4 改革の取組

##### (2) 効果的で効率的な行財政運営の推進

##### ア 多様な人材と働き方による行政運営(1/1)

頁	行	事務局修正案 (11/10送信分)	委員修正 (案)	委員コメント	事務局意見
P3	18	将来の人口減少に伴う行政サービスの担い手の不足を見据え、多様な人材による行政サービスの持続的かつ安定的な提供を目指した体制づくりを推進します。 また、それぞれの人材がその能力を十分に発揮し、 <b>効率的な働き方</b> を選択できる組織運営を目指します。	将来の人口減少に伴う行政サービスの担い手の不足を見据え、多様な人材による行政サービスの持続的かつ安定的な提供を目指した体制づくりを推進します。 また、それぞれの人材がその能力を十分に発揮し、 <b>多様な働き方</b> を選択できる組織運営を目指します。	真野委員 コメントなし	真野委員の案のとおり修正します。
	23	○市民ニーズに継続的かつ安定的に応えるとともに、様々な行政課題に対応するための幅広く多様な人材の活用		寺澤委員 【意見】 「安定的に応える」とは、具体的にどういう対応なのか？	安定的にサービスを提供していくという主旨で修正案を作成したものです。
	25	○障害者による短時間勤務や民間人材による副業など、多様な働き方を実現できる柔軟な勤務制度の構築		寺澤委員 【意見】 「障害者」だけに限定してよいのか？	障害者の勤務機会の拡充に重きを置き、修正案を作成したものです。

#### 4 改革の取組

##### (2) 効果的で効率的な行財政運営の推進

##### イ 事務事業の見直しと広域連携による課題解決(1/1)

頁	行	事務局修正案 (11/10送信分)	委員修正 (案)	委員コメント	事務局意見
P3	30	限られる人的・財政的資源を効率的に活用し、継続的に行政サービスを提供していくために、これまでの事務事業評価や施策立案の手法を見直し、より実効性を確保できる新たな手法の導入により事務事業の見直しを推進します。	限られる人的・財政的資源を効率的に活用し、継続的に行政サービスを提供していくために、これまでの事務事業評価や施策立案の手法を見直し、より実効性を確保できる新たな手法の導入を図ることにより事務事業の見直しを推進します。	寺澤委員 コメントなし	寺澤委員の案のとおり修正します。
P4	3	○正確な財務状況を市民に分かりやすく伝えるための全国統一基準による公会計制度の活用と改善	○本市の財務状況の現状を市民に分かりやすく伝えるための全国統一基準による公会計制度の活用と改善	寺澤委員 【意見】 今まで公表してきた財務情報が正確さを欠いていたような印象を受ける。	寺澤委員の案のとおり修正します。

#### 4 改革の取組

##### (2) 効果的で効率的な行財政運営の推進

##### ウ 公共施設マネジメントの推進(1/1)

頁	行	事務局修正案 (11/10送信分)	委員修正 (案)	委員コメント	事務局意見
P4	9	将来にわたり公共施設等を最適に維持管理するとともに、いずれ更新時期を迎える施設が増加することを見据え、財政負担の平準化に取り組みます。	将来にわたり公共施設等を最適に維持管理するとともに、今後、更新時期を迎える施設が増加することを見据え、財政負担の平準化に取り組みます。	寺澤委員 コメントなし	あまり遠くない将来という意味で修正案を作成しています。
	11	また、今ある施設をできるだけ長期にわたり利用できるよう取り組むとともに、将来の施設更新に伴う、財政負担の増加に備えた全市的、総合的な視点での再配置を推進します。	また、今ある施設をできるだけ長期にわたり利用できるよう取り組むとともに、将来の施設更新に伴う財政負担の増加に備えた全市的、総合的な視点での配置を推進します。	寺澤委員 コメントなし  阿部副会長 【意見】 民間資金の導入という ような内容を追加で記 載できないでしょうか。 ふるさと納税やクラウド ファンディングといった ものかと思います。	「伴う、」については、寺澤委員の案のとおり修正します。  「再配置」については、長野市公共施設等総合管理計画との整合を図り、修正案を作成したものです。  ふるさと納税(応援したい自治体等に寄付ができる制度)やクラウドファンディング(ある目的のために、インターネットを通じて不特定多数の人から資金を集めること)などによる民間資金の導入は行政改革には馴染まないと考えます。

#### 4 改革の取組

##### (3) DXの推進

###### ア 市民サービス向上のための変革(1/1)

頁	行	事務局修正案 (11/10送信分)	委員修正 (案)	委員コメント	事務局意見
P4	26	○本市各課の所有する様々なデータをつなぎ合わせて活用することによる市民サービスの向上		寺澤委員 【意見】 「総合的」、「相互」が妥当か？	行政DXを分かりやすく、表現するため既存のデータを「つなぎあわせる」と修正案を作成したものです。

#### 4 改革の取組

##### (3) DXの推進

##### イ 行政事務の変革(1/1)

頁	行	事務局修正案 (11/10送信分)	委員修正 (案)	委員コメント	事務局意見
P4	34	また、効率化による人的資源や本市が保有するデータを活用し、	また、 <b>効率化により生まれる人的資源</b> や本市が保有するデータを活用し、	阿部副会長 効率化したことで生まれる余力という意味ですよね？元の文章だとそこがよくわからないので、こんな感じでどうですか？	阿部副会長の案のとおり、修正します。
P5	5	○本市独自の事務処理に対応するための情報システムのカスタマイズ抑制と、クラウドネットワークを前提としたパッケージシステムによるSaaS活用の推進	○本市独自の事務処理に対応するための情報システムのカスタマイズ抑制と、 <b>クラウドサービスへの移行の推進</b>	普世会長 この部分の表現に違和感があるので、行政DX推進課が行政DX推進委員会で説明した情報システム化の方針に沿った表現に修正した。	普世会長の案のとおり修正します。

#### 4 改革の取組

##### (4) 職員の人材育成と意識改革(1/1)

頁	行	事務局修正案 (11/10送信分)	委員修正 (案)	委員コメント	事務局意見
P5	12	様々な市民ニーズや行政課題に対応していくため、行政サービスを担う職員にも多様な人材が育成できるよう、社会に定着しつつあるオンライン研修などを活用した個々の職員の自発性を生かせる研修体系の構築とその支援に取り組みます。	様々な市民ニーズや行政課題に対応していくため、社会に定着しつつあるオンライン研修など <b>職員個々の自発性を生かせる研修体系の構築とその支援に取り組み、行政サービスを担う職員の資質向上と多様な人材の育成を図ります。</b>	寺澤委員 コメントなし	本市の人材育成の課題を踏まえた上で修正案を作成したものです。
	15	また、業務改革によるDXへの取組みに対する職員の理解を深めるとともに、多様な人材が互いに認め合い、個々の職員のスキルアップや仕事に対するモチベーションを高めながら <b>働ける</b> 職場づくりのための取組みを推進します。	また、業務改革によるDXへの取組みに対する職員の理解を深めるとともに、多様な人材が互いに認め合い、個々の職員のスキルアップや仕事に対するモチベーションを高めながら <b>働くことができる</b> 職場づくりのための取組みを推進します。	寺澤委員 コメントなし	「働ける」という表現で問題がないと考えます。
	21	○様々な行政課題に対応できる職員体制の確保を目指した幅広く多様な研修メニューの確保と職員の自発的な研修意欲を生かせる支援制度の充実	○様々な行政課題に対応できる職員体制の <b>構築</b> を目指した幅広く多様な研修メニューの確保と職員の自発的な研修意欲を生かせる支援制度の充実	寺澤委員 コメントなし	寺澤委員の案のとおり修正します。
	23	○職員の自由な発想を導き、施策への反映を目指した提案を促す自主的なグループ活動の支援	○職員の自由で <b>新しい発想による、時代に合った施策提案のためのシステムの再構築</b>	阿部副会長 支援とか導きというだけでなく、そういった文化・環境を作っていくための具体策はないのでしょうか？ 自主グループの活動支援の先にあるのはおそらくシステムではないかと。	職員の自由な発想を導くことからスタートし、施策レベルの提案を行える自主的なグループ活動の支援が必要と考え、修正案を作成したものです。

## 5 推進体制(1/1)

頁	行	事務局修正案 (11/10送信分)	委員修正 (案)	委員コメント	
P5	31	この大綱に掲げる改革は、庁内に組織する長野市行政改革推進委員会が主体となり、		寺澤委員 【意見】 あえて記載する意味があるのか？	本市行政改革大綱の添付資料には、これまで審議会等の条例や要綱、委員名簿、審議経過等を掲載していません。
	37	市民で構成されている長野市行政改革推進審議会に実施計画の進捗状況などを説明し、		寺澤委員 【意見】 あえて記載する意味があるのか？	従いまして、「行政改革推進審議会」や「行政改革推進委員会」の簡単な説明を記載しているものです。